

「校章デザイン」募集結果

1.応募数

区分	人数
一般	12
児童	31
総数	43

応募者の分類	数(複数回答あり)
奥出雲町に在住の方	30
奥出雲町に通学・通勤されている方	26
奥出雲町出身者の方	13

No.1



校章デザインの説明
(理由・意味等)

奥出雲の深い山々に囲まれ名産の仁多米の稲と穂のモチーフを入れ町の花のシャクナゲをデフォルトしてデザイン致しました。花は桜と迷いましたが雲南が桜の為、奥出雲のシャクナゲを。稲穂は上を向いていた方が理想だと思いましたが、『実るほど頭を垂れる稲穂かな』ということわざを知り『知識や徳を積んだ人ほど謙虚な人間になること』とございましたのと個人的にデメリットをお持ちの子でも楽しい学校生活をとデザインしました。

No.3



校章デザインの説明
(理由・意味等)

6つの花びらは、6校から集まったハート(ハート=心)

No.2



校章デザインの説明
(理由・意味等)

六この学校があつまったから、六このハートと、ろっかつ(丸)をあらわしました。

No.4



校章デザインの説明
(理由・意味等)

奥出雲町は、たたら製鉄が栄えた町というイメージがありましたので全体をたたらに関するものにしてしました。
上部真ん中には炎を配置し、たたら製鉄を連想させるものとし、今回6つの小学校が統合するということもあり6本の木を配置し成長の象徴を表現しました。
たたら製鉄でも重要だった木を燃やし成長変化をして欲しいと願いを込めました。
また、鉛筆のシルエットで学習のイメージさせるものとしております。
下部には自然あふれる山と川もたたら製鉄には欠かせないものでしたので配置しました。
フレームは稲穂のシルエットにすることにより、「食」をイメージさせ、食育も重要な学習と考え配置しました。
在校児童、卒業生が世界で活躍して欲しいと願いを込めて、中央にはNITAのNTを配置し、校章の形先エンブレム風によりグローバル感を出しました。
全体的にシンプルで分かりやすく、小学生でも書き写すことのできるデザインにすることを心掛けました。

No.5



校章デザインの説明
(理由・意味等)

デザインコンセプト:奥出雲町の自然豊かな環境と伝統文化を象徴し、地域の誇りを育むデザイン。
デザイン要素:
1. **山と川**:
奥出雲町の自然を象徴するために、山と川のシルエットを配置します。山は力強さと成長を、川は知識と流動性を象徴します。
2. **六角形の枠**:
六角は6地域のバランスを意味し、教育の場としての安定性を表します。この形状は校章全体の外枠として使用します。
3. **松の木のモチーフ**:
松は長寿や不屈の精神を象徴し、学び続ける意欲と学校の歴史の重みを表します。シンプルな松の葉をデザインに取り入れます。
4. **カラーとシンプルさ**:
白黒での使用にも耐えうるシンプルな線画で表現します。
デザイン説明
この校章デザインは、奥出雲町の豊かな自然と文化をシンボリックに表現し、地域との結びつきと学校の教育理念を具現化しています。シンプルながらも意味深いデザインにすることで、白黒でもイメージが崩れず、長く使用できるものになりました。
注意点:
・校章デザインにはグラデーションを使用しないよう、すべての要素をシンプルな線と塗りで表現しています。
・この校章デザインの一部は生成AI(DALL・E3)を使用して作成し、その画像を修正しております。一部類似画像を検索し、調査しましたが、著作権、商標に該当するものはありませんでした。

No.6



校章デザインの説明
(理由・意味等)

布勢小学校、三成小学校、高尾小学校、亀高小学校、阿井小学校、三沢小学校の六校が統合してできる仁多小学校という事で、今回の六校を合体させた校章デザインにしようと思いました。六校それぞれの校章の一部分を入れてこの六校が統合したようにして外枠に米の模様をつけました。なぜ、米の模様を入れたのかというと、仁多郡では仁多米が有名で仁多というのに一番ゆかりがあると思ったのと、米の象徴が繁栄なのでこの小学校がこの校章とともに繁栄してほしいという思いを込めて米の模様を外枠に取り入れました。

No.7



校章デザインの説明
(理由・意味等)

仁多といえば仁多米が有名なので、稲穂をモチーフしました。

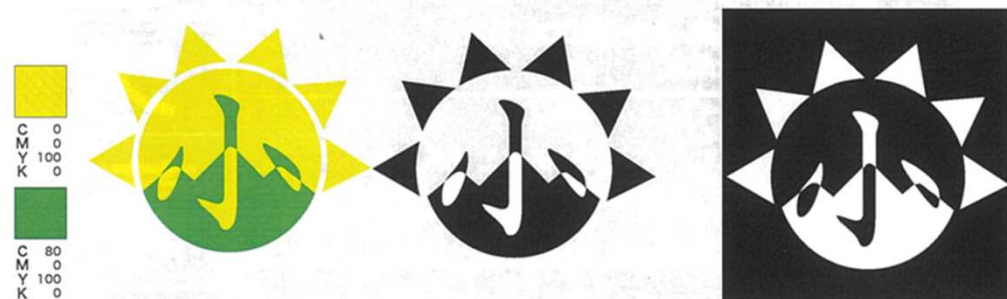
No.8



校章デザインの説明
(理由・意味等)

このマークを作るにあたって、仁多といえば仁多米が有名なので一目で仁多とわかるように稲穂をモチーフしました。シンプルかつ、わかりやすさを重要視してつくりました。

No.9



校章デザインの説明
(理由・意味等)

統一、希望、そして生徒たちの無限の明るい未来を象徴として太陽を表しました。太陽を囲むように配置された6本の光線は、仁多小学校を形成するために統合された6つの学校を象徴しています。この光線は、学校の団結とその集団の力を示しています。校章には、仁多の美しい山々も描かれており、この地域の自然環境とコミュニティの豊かな遺産とのつながりを強調しています。黄色は喜び、幸福、エネルギーを象徴し、学校と生徒たちの活気ある精神を反映しています。緑色は快適さと仁多の豊かな緑を表し、学びの場としての調和と育成の環境への学校のコミットメントを強調しています。

No.11



校章デザインの説明
(理由・意味等)

みんながあつまってくる。

No.10



校章デザインの説明
(理由・意味等)

真ん中のマークは仁多町だったときの町章を入れました。仁多小学校が上へと羽ばたいて行くように羽を付けました。

No.12



校章デザインの説明
(理由・意味等)

元気6学校

No.13



校章デザインの説明 (理由・意味等)	六校が集まるので、六まいのクローバーのデザインにしました。
-----------------------	-------------------------------

No.15



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多小学校になって最初の文字をかいたらいいと思った。
-----------------------	----------------------------

No.14



校章デザインの説明 (理由・意味等)	みんなの学校の一パーツをいれてみました。これてみんないっしょにあそんだりするなかまなので学校の一パーツをいれました。
-----------------------	--

No.16



校章デザインの説明 (理由・意味等)	にたのさしよのもじはに だから
-----------------------	-----------------

No.17



校章デザインの説明
(理由・意味等)

多様な学校をイメージしました。

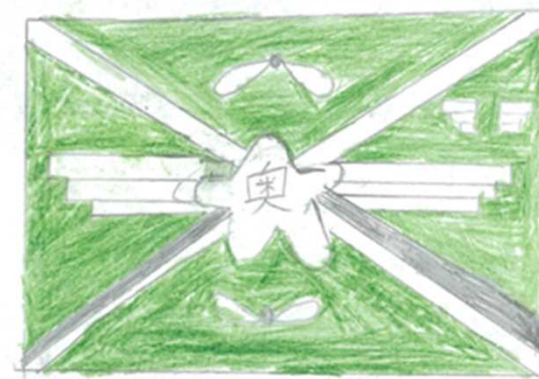
No.19



校章デザインの説明
(理由・意味等)

6つの学校が統合して仁多小だから

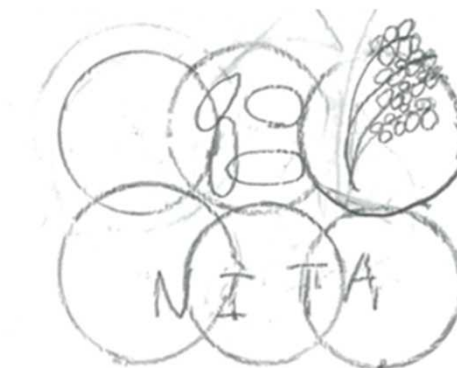
No.18



校章デザインの説明
(理由・意味等)

それぞれの学校の校章をアレンジして書いて、みんな仲良く過ごせるようにと思い書きました。そしてつばを書いた理由は、みんな未来に向かって飛び立ってほしいと思いました。

No.20



校章デザインの説明
(理由・意味等)

6つの輪は6校を表現し、1つの輪になるような意味。
米は(稲)=仁多米を表しています。

No.21



校章デザインの説明 (理由・意味等)	校章でどの学校かわかりやすいように「仁小」とかきました。 文字のまわりは6校の学校が集まるので六角形のようにしました。
-----------------------	--

No.23



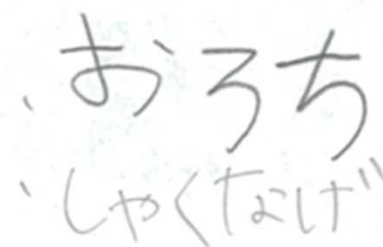
校章デザインの説明 (理由・意味等)	全ての小学校の校章をくみ合わせた
-----------------------	------------------

No.22



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多の全部の小学校があわさったからこんな形になりました
-----------------------	-----------------------------

No.24



校章デザインの説明 (理由・意味等)	記入なし
-----------------------	------

No.25



校章デザインの説明
(理由・意味等)

桜が好きだから、きれいだから

No.27



小 または 仁多
仁小

校章デザインの説明
(理由・意味等)

5つの地域が1つになり、力を合わせて良い小学校になっていくよう美しく明るく咲き匂わせる桜をイメージした。(花びら一枚一枚が組み合わされて桜となる)

No.26



校章デザインの説明
(理由・意味等)

6校が集まってできた小学校なので6つのハート？花びら？葉っぱ？などを重ねて明るい校章になると良いかなと思いました。絵心はないのでイメージです。糊のついた米粒も良いかもしれませんね。種となって芽を出すこともできるので。

No.28



校章デザインの説明
(理由・意味等)

仁多米が有名なので。
6校の統合なので六粒にしました。

No.29



校章デザインの説明 (理由・意味等)	記入なし
-----------------------	------

No.30



校章デザインの説明 (理由・意味等)	5校が集まり周りが山でやさしい子たちだから
-----------------------	-----------------------

No.31



校章デザインの説明 (理由・意味等)	みんながキラキラかがやく小学生になるようなイメージで書きました。
-----------------------	----------------------------------

No.32



校章デザインの説明 (理由・意味等)	左: 笑顔イメージ 右: 特になし
-----------------------	----------------------

No.33



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多地区の小学校が全ぶ集まったから仁多地区の形にしている
-----------------------	------------------------------

No.34



校章デザインの説明 (理由・意味等)	りゆうは仁多があつまるから仁小にして、みずりにあるかあらみずりベースにしました。
-----------------------	--

No.35



校章デザインの説明 (理由・意味等)	三ざわ小学校のまねをした。
-----------------------	---------------

No.36



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多は「ゆたかな土地」という意味があり、後ろには山、仁多米をイメージしました。「仁」のむかしの感じの成り立ちを調べていいとおもったからです。
-----------------------	--

No.37



校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多米をデザインに取り入れました。 いねで「仁」「多」をあらわしています。
-----------------------	--

No.38



校章デザインの説明 (理由・意味等)	ほくは阿井小学校からそれなりにかいてみた。
-----------------------	-----------------------

No. 39



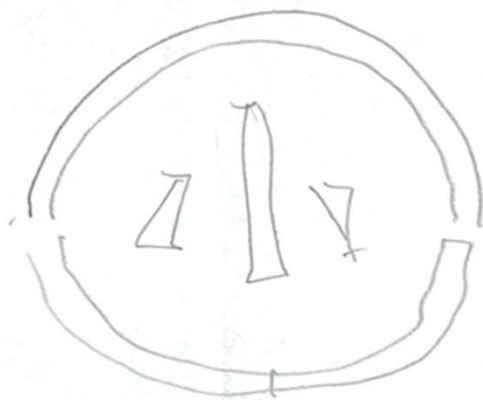
校章デザインの説明 (理由・意味等)	仁多の美しい自然(斐伊川と各地区を代表する山)を守りたいと思った。 そしてカタカナのニタの字を入れた。
-----------------------	--

No.40



校章デザインの説明 (理由・意味等)	6校の子供達が仁多小学校を学舎として1つとなり、自然豊かなふるさとで天高くのびのびと成長できるように！
-----------------------	---

No.41



校章デザインの説明 (理由・意味等)	ニタ小(仁多中のオマージュ)
-----------------------	----------------

No.42



校章デザインの説明 (理由・意味等)	6つの小学校が統合するので、丸が6個集まった形。三成・高尾・亀高・阿井・三沢・布勢小を丸で表し、6つの玉が集まって花の形をつくっている。中の仁多小の文字も6つの玉で表し、玉のパワーが集まって花が開くイメージ
-----------------------	---

No.43



校章デザインの説明 (理由・意味等)	ひし形は、大地のエネルギーを秘めていると言われている。ひし形のエネルギーを土台にして、三成・高尾・布勢・三沢・阿井・亀高小が力を合わせて、新たな仁多小学校を形成する。
-----------------------	---